

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2022 年度年間聖句

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」

(マタイによる福音書 5 章 1 6 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
 子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
 祈 禱 会 各水曜日
 ○昼の聖書研究祈禱会
 (第 1、第 3・午後 2 時)
 ●夕の祈禱会
 (第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準
 協力牧師 堂 本 陽 子
 協力牧師 井 東 焔

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
 TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
 FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
 ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
 郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
 0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3049 2023 年 3 月 19 日

礼拝式順序

(受難節第 4 主日)

	司式者	井 殿 準	
	奏楽者	岡 野 和 美	
前 奏			奏 楽 者
招 詞	ヨエル 2 : 12 ~ 13a		司 式 者
讚 美 歌	2 9 6 「いのちのいのちよ」(1~4節)		一 同
聖 書	ルカ 9 : 2 8 ~ 3 6 (新 P. 123)		司 式 者
祈 禱			”
説 教	「栄光の頂に立つために」		”
祈 禱			”
讚 美 歌	1 8 3 「イエスのみ名に」		一 同
献 金			”
主の祈り	(9 3 - 5 - A)		”
頌 栄	2 6 「グローリア、グローリア、グローリア」		”
祝 禱			司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」		一 同
報 告			司 式 者
讚 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」		会 衆

ご来会の方々へのお願い

<新型コロナウイルス・ウイルス感染拡大予防ために、
 以下のことをお願いいたします。>

- ・礼拝堂に入る前には、手指の消毒をお願いいたします。
- ・マスクの着用を奨励しています。マスクを着用しないままでの会話、讚美歌を歌うことはお控えいただけますと幸いです。

先週の説教要旨

「神に担われて」

(イザヤ 63 : 7 ~ 19)

捕囚から解放されてバビロニアからエルサレムに帰還して来た民が最初に目にしたのは、見る影もなく破壊され、廃墟と化したエルサレムの町の姿であった。人々はその様を見て、愕然としたに違いない。しかし、そのような民に支援の手が差し伸べられることはなく、かえって周辺に住む異国からの移住者たちは、敵意をあらわにして復興の邪魔をし、彼らを迫害した。

そのような状況の中で、預言者イザヤは、民に神の恵みを思い起こさせる。これまで神が、民の苦難を常にご自分の苦難とし、救って来てくださったこと、「愛と憐れみをもって彼らを贖い、昔から常に、彼らを負い、彼らを担ってくださった」ことを思い起こさせる (9 節)。

辛く、悲しい時を過ごす時、我々は「神に担われている」と言うより、「神に見捨てられた」という気持ちになってしまう。「担われていた」ことに気づくのは、いつもずっと後のことだ。おそらく、イスラエルの民の多くも、「担われている」という実感はなかったものと思われる。しかし、その民も、後に自分たちが神に担われていたことを知るようになる。エルサレムの町は復興し、神殿も建て直され、人々はそのことを実感して行く。

そして今や、我々は主イエス・キリストの出来事を通して、神が我々のことを担い続けてくださっていることを知らされている。キリストは、我々の救いのために大きな痛みと苦しみを引き受け、十字架の上で命を捨ててくださった。また、主イエスは、十字架の上でご自分を十字架にかけた人々の赦しを願って、神に執り成しの祈りをささげてくださった。これらのことから我々は、神が、罪深く、救われる価の全くない人々の命を愛おしみ、罪人をまるごと担ってくださることを知らされている。

今日の聖書の御言葉と同様、イザヤ書 46 章では、神が「わたしは、あなたがたが生まれた時から白髪になるまで背負い続ける」「わたしがあなたがたを造ったが故に、わたしはあなたがたを担い、背負い、救い出す」と告げられている。罪深い我々であるが、神は、主の十字架の故に、罪深い我々のことをまるごと担い、背負い、救い出してくださいませのだ。これらの御言葉を固く信じて、感謝と喜びの内に、今日もここから歩み出して行こう。